

PRESS RELEASE

2011年10月20日

植育のできる庭プロジェクト実行委員会

「家族で集う『植育のできる庭』」が登場

3.11 後のライフスタイルを考える「日経住まいのリフォーム博2011」の特別企画展

今月の10月28日（金）～30日（日）に、東京ビッグサイト東1ホールにて開催される「日経住まいのリフォーム博2011」に、特別企画「3.11 後の新しい住まい・リフォーム家族で考える安全・安心・絆」コーナーが設置されています。そのコーナーの大きな目玉企画として、「家族で集う『植育のできる庭』」コーナーが登場します。このコーナーは、庭・エクステリアに関する専門メーカー5社による「植育のできる庭プロジェクト実行委員会」（実行委員長＝久保博尚、ナカシマプロペラ㈱開発部長）が企画したもので、未曾有の震災を経たのちの日本の住まいや暮らしの在り方を考えるにあたり、「庭」の重要性をしっかりと見直そうというものです。

会場には、合計6小間分の実大の庭が登場します。そしてこの庭を設計・施工するのが造景家の小林徹氏（埼玉県深谷市、株式会社エコグリーン設計社長）。小林氏は史上最年少で、「現代の名工」の称号を得た気鋭の造景家です。



※図面は予想図です



設計・施工＝造景家・小林 徹氏 ㈱エコグリーン設計社長

■日経リフォーム博で「庭」を作る意味

この展示会には、プロユーザーであるハウスメーカーの設計者や、デザインにこだわる建築・設計事務所やリフォーム業、工務店などが多数訪れます。同時にリフォームを検討している消費者も土日を使って訪れます。そういった目の肥えたプロや具体的に予算を持ってリフォームを検討したいエンドユーザーの方々が、「庭」の素晴らしさに気づいてもらえればという思いが込められています。

そんな目の肥えた消費者やプロたちに、これからの住宅に機能として備えたい本物の庭を見てもらおうということで、小林徹氏に設計・施工を依頼したのが、(株)いけうち、(株)グリーンフィールド、越井木材工業(株)、タカノ(株)、ナカシマプロペラ(株)という5社のメーカーです。いずれも建物と敷地外との中間領域である庭スペースの商材を開発している専門メーカーです。これらのメーカーが一緒になり「植育のできる庭プロジェクト」実行委員会を結成して、作庭を依頼しました。

各社の共同出展という形を取りつつも、すべて自社の主力商品のみをPRとするといった通常の展示会方法を取らないことも特色です。つまり「商品ありき」の展示ではなくて、「植育のできる庭」というコンセプトが先にあるのです。

■小林徹氏の「植育のできる庭」とは

「食育」ではなくて、「植」育。その言葉は小林氏の造語です。定義は、1. 植物を通して自然の不思議を学び、自然の大切なルールを知ること。2. 植物を通して環境の保護・保全に対して共感や貢献できる豊かな心を創ること。3. 植物を通して地域社会の交流の場を創ること。

『『食べる』ためには、その前に『植える』ことが必要です』と小林氏は語ります。今までの庭づくりは、見て楽しむものだった。それが生活の一部として「使う庭」になり、今は「植育の庭」という新しい考え方になった。植物に触れることができる空間を作ることが、エクステリア業に携わるプロの仕事であるという。そして、本当のエコの時代は、いまの子供たちが親になった時に来るのだということです。

「次の世代の子供たちに、たくさんの緑を体験させるのが、今の我々プロの仕事です。そして、その子供たちが親になった時に、今度はその子供たちに草むしりは面倒だし、野菜を作るのもとても大変なことなのだとすることを、しっかりと教えてあげるのです。その代でたぶん本格的なエコの時代になるのだと思います」。

建物を中心にした住宅リフォームの展示会で、こうしたコンセプトの庭が登場するのは、おそらく初の試みであると思われます。おりしも東日本大震災が発生し、3月11日以前とそれ以降では、住まいに関する考え方も大きく変わってきています。建物にとっての「庭」という存在も、単なる付加価値的な付属物ではなくて、その場を通じて学び収穫し、豊か

な生活を送るためのデザインが求められるようになりました。そうやって家族で住み継ぎ、経験を継いでいく庭は、家族のみんなの心に残る場所になります。親たちが、子供たちが共有する原風景としての庭。そんな場所に家族が集うことで、もっと深い人間同士のつながりや結びつきが生まれる一。展示会という枠はあるものの、その限られた条件の中ではあるものの、小林氏が挑戦する「植育の庭」に注目したいと思います。

協賛メーカー

(株)いけうち 霧を使った空間造り（都市と自然を調和する事業等）

<http://www.kirinoikeuchi.co.jp>

(株)グリーンフィールド 造園緑化資材、建設資材等

<http://www.gfield.co.jp/>

越井木材工業(株) 木材関連商品

<http://www.koshii.co.jp/>

タカノ(株) オーニング、テント等

<http://www.takano-net.co.jp/exterior/>

ナカシマプロペラ(株) クッキングガーデン、テーブル等

<http://www.ios-garden.com/>

作庭 (株)エコ.グリーン設計 小林 徹

<http://www.eco-green.jp/>

※本リリースの問い合わせ

(株)住宅環境社・企画部 岩崎英希まで 電話 080-1379-5007